



家庭通信 6月号

2021年5月31日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

初夏を思わせるような気温の高い日が続き、園庭の水遊びが連日のように繰り広げられています。水着の準備を早々とご用意いただきありがとうございます。昨年園庭改造し設置した砂場のガチャポンプは子ども達の遊びを一層活動的に発展させている一つとなっています。泥んこの感触や水の流れの面白さは、年齢に応じて感じ方や思考が異なります。去年やったからもう飽きているということではなく、何度も繰り返し経験しながら知識や感覚を確かなものにしていくのです。小さいクラスの子も達は雨上がりに水たまりがあると、ワクワクして入らずにはいられません。親だったら「水たまりに入らないで」と言いたくなる瞬間です。園ではこのような泥んこ遊びは子ども達の成長にとっても大事な要素がたくさんあると考えて積極的に取り入れています。気持ちを開放的にし、夢中になって遊ぶことができることはもちろん、水、砂、泥のさまざまな感触を手や足の末端で感じ、五感を使った遊びであること、そして砂泥の素材が持っている多様に化する物にたいして自分や仲間と一緒に試行錯誤しながら遊びを作り出していく面白さが、集中力や持続力、思考力の育ちと結びついてきます。こうした可塑性の高い遊びは乳幼児期の遊びに大切だと言われています。この時期は気温も高くなり泥んこ遊びにはもってこいの季節です。子ども達の泥遊びの後は、できるだけ泥を落として洗濯物をお返しするようにしていますが、以上のような理由から泥んこ遊びを取り入れていますので、ご理解いただきお洗濯のご協力をお願いいたします。

先日園庭の梅の実の収穫を年長組の梅ジュースチームの子どもたちと一緒に行いました。自分の背丈より高い所に成っている実をどうやって収穫するのか見ていると、ログハウスから椅子や牛乳ケースを運び出しその上に乗って必死に手を伸ばしてみるものの届きません。タイヤをいくつも積んでみたり、四角い台の上にもう一段乗せてみたりしてみんなで協力しながら、ワイワイにぎやかに収穫した梅の実の数はなんと177個。この豊作に大満足の子もたち。高い所に登ってちょっとドキドキしながら「とれた！」と実をもちだその瞬間のうれしそうな笑顔が印象的でした。

【お知らせ】

子ども達と一緒に生き物や植物に触れるよい季節です。ご家庭で花の種をまいたり、生き物を飼育して観察したりするのも良いですね。先日連絡アプリでもご連絡しましたが、

6月3日(木)にカブトムシの幼虫を配布します。今年はコロナ感染症の影響で配布する場所が少なかったため、沢山分けていただけるようです。この時期はカブトムシの幼虫が蛹になり7月上旬から成虫になります。短期間で生命の不思議さと出会えるチャンスです。どうぞ遠慮なくご希望の方はご連絡ください。

6月のねらい

<年長組>

- 身近な自然事象や動植物の変化などを通して、クラスの友だちと一緒に発見したり不思議さを共有したりしながら興味関心を広げる。
- 夏ならではの遊びや行事を楽しむ。
- 友だちとの繋がりを深め、思いを伝えながら遊びを進めていく

<年中組>

- 様々な遊びに興味を持ち、やりたいことを見つけながら十分に楽しむ。
- 遊びや生活の習慣がわかり、身の回りのことを自分で行う。
- 夏の遊びや活動に参加し、楽しさや開放感を味わう。
- 夏の自然事象や身近な虫や、植物の変化などに興味関心を持つ。

<年少組>

- 保育者と一緒に過ごすことで、安心して自分の好きな遊びを楽しむ。
- 保育者に見守られながら、身の回りの始末や衣服の着脱など、できることは自分でしようとする。
- 身近な自然や夏ならではの活動に興味を持つ。
- 様々な素材や用具に触れて遊ぶことを楽しむ。

<2歳児>

- 周りの子と一緒に砂や水に触れて楽しむ。
- 梅雨期を楽しく気持ちよく過ごせるようにする。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。